

まちの駅アウル

に行ってみませんか

5月15日（土）に町の多目的広場「まちの駅アウル」がオープンしました。

平成14年に町に活気を呼び戻そうと設置された「アウル」も商店街活性化センター「あえ〜る」と共に、すっかり定着してきたのではないのでしょうか？これからも町民みなさんの力で活気あるまちづくりに取り組みましょう。



3年目を迎えた『アウル』

「市街地に賑わいを取り戻そう」と空き店舗対策の一環として空き地、空き店舗を利用して設置された多目的広場『まちの駅アウル』は3年目を迎えました。

平成14年7月のオープンの際、『美しいまち、生き活きとした当別を創る会』（安部慎会長）が主催したオープンイベントでは総面積1万1千平方メートルの会場でのステージ披露や各種出店に延べ3、000人ものが来場者があり、終日賑わう盛況ぶりでした。

また2年目となる、15年5月のオープンには、北海道医療大学のボランティア活動拠点『ゆうゆう24』の学生が中心となりイベント内容をプロデュースして、若い力が街の賑わいを高めました。

毎年オープン後は、個人や各種団体・実行委員会など、住民自らが企画したイベントが多種多様に行われ、10月のクローズまでに土・日を中心に30日程度の利用と、延べ1万人以上が『アウル』に足を運んでいます。

学生の力を起爆剤に！

今年は、5月15日（土）にオープンイベントが開催されました。

『美しいまち、生き活きとした当別を創る会』を中心に、昨年に引き続き『ゆうゆう24』の学生が内容をプロデュース。

ステージ内容やステージ空き時間の楽しみ方、出店など、町民が足を運んでくれるイベントづくりにより1カ月以上も前から話し合いを重ねる中で準備を進めてきました。

当日は、春の暖かさが肌で感じられる穏やかな日差しの中、同大学生の新井和也さんが司会を務め、会場を盛り上げました。ステージでは、同大学の軽音楽グループや吹奏楽部の演奏が会場に響き渡り、茶道部のお茶席、出店など100人以上の学生が関わっています。

今回『ゆうゆう24』とテントを並べ、「自分たちの手で町興しを」と活動の場を模索していた同大学の『まちおこし同好会』やイベントに携わる多くの学生は、「自分たちが当別の学生であること」や、「この街に溶け込む活動をしていること」を知ってもらいながら、街に賑わいが戻ることを願って活動しています。

また、各地の災害時にいち早く駆けつけボランティアを援助する活動を行っている、『災害救援ネットワーク北海道』は、学生の声かけで今回出店参加し、自分たちの活動を多くの人にPRするなどネットワークの広がりを感じます。



イベントを盛り上げた学生さん



若い人たちの溢れるパワーが、商店街や町民に通じて『アウル』をさまざまな人が活用し、街中に人を呼び込む起爆剤になっていくのではないだろうか。

また、イベントに出店する地元商店の方々も、活気ある呼び込みと目



今年も開催します 町民みなさんが参加できるイベント

開催日 8月21日（土）・22日（日）
会場 阿蘇公園・アウルなど

昨年、「ゆうゆう24」が中心に、町民のみなさんに協力と参加していただいた「24時間テレビチャリティイベント」を今年も計画しています。昨年の反省を踏まえて、すでに学生実行委員会を立ち上げ、綿密な事前準備を進めて行きたいと思っています。24時間通じて行うスポーツイベントも考えていますのでみなさん是非足を運んでください。（ゆうゆう24 大原裕介代表）

玉商品で来場者の目を引きました。当別には、新鮮な野菜、全道に誇る美しい花々、おいしい食材、学生の若い力、数え上げれば切りがないたくさんの財産があります。

みなさんも、『アウル』に足を運ぶ、自分たちで何かをやってみる、なんていうのもおもしろいかもれません。今年はあなたが街の主役になってみませんか？

利用申込・問合せ 商工課（☎233129）、または商工会（☎232447）へ。